

GB21テナント誘致に5千万円

沼田市は、まちづくり支援事業として「グリーンベル21」テナント出店促進事業費補助金5,000万円を、今年度につづいて新年度予算に計上し、「グリーンベル21」に1000㎡以上で出店するテナントに対し、3.3㎡あたり2.5万円の補助を行ないます。



地域経済を象徴するよな商業ビルGB21

しかし、ビルの85%を所有している側のイートバイテックと管理会社の沼田都市開発が裁判で係争中であり、次から次へとテナントが閉店している商業ビルに、新たに出店するテナントがあるでしょうか。1階に出店した「沼田マルシェ」は、所有者の出店なので、テナントではなく対象にならないそうです。いずれにしても現在の状況で5,000万円もの予算措置をしても有効に活用できるという保証はありません。市民の生活関連事業は、市はお金がないということで予算を削っているのに、おかしいと思いませんか。

生活道路補修予算は大幅マイナス



側溝フタが痛んで、おおきな穴になっている一ひまわり号街中探検から

市民が日常生活で利用している道路などを補修するための「道路補修事業」の予算は、市の財政が厳しいからと、沼田本庁管内分は、前年度予算3,700万円から2,500万円に、1,200万円も減らされました。白沢・利根分は前年並みで、それぞれ1,200万2千円と1,477万1千円です。

今年の冬は、冷え込みが厳しく雪も多かったもので、市内至る所で道路の舗装が痛んでいます。市民の高齢化も進んでいることから、道路の補修は必ず必要になると思います。また、補修などの小さな工事は、市内の中小土建業者などに発注されますので、この点でも予算確保は重要な課題の一つになります。

新規就農総合支援事業に1千万円

沼田市に住所があり45歳以下で新しく農業をやろうという人に、5年間毎年150万円を支援する事業に、白沢町、利根町両振興局を含めて1,050万円が予算化されました。沼田本庁管内で4人（夫婦の場合は金額が1.5倍）、白沢で1人、利根町で1人予定されています。

有害鳥獣対策には2千7百万円

特別措置法に沿って「鳥獣被害対策実施隊」が編成されることになる鳥獣対策事業には、本庁、白沢、利根合わせて2,791万3千円が予算化されました。そのうち「実施隊の報償費」は1,357万2千円です。その他対策協議会やそれぞれの猟友会への補助金も予算化されています。

中心市街地土地区画整理事業は1億3千万円

中心市街地土地区画整理事業は1億3,127万4千円で、区画整理の工事などが少しありますが、6件の建物移転に対する物件補償費が中心の事業内容です。

これとは別に、教育予算関係で、生方記念文庫移転事業が6,721万9千円で行なわれ、25年度中に完成する予定です。また、沼田貯蓄銀行は、移転準備が2,127万6千円で実施され、26年度に上之町に移転工事が行なわれ完成される予定です。



生方記念文庫移転予定地

企業誘致推進事業は3千万円

沼須産業団地や横塚生品農工団地に企業誘致などを推進するための予算は、3,044万2千円が上程されています。この中には、すでに沼須産業団地に建設が決まっている「利根中央病院」への企業立地助成金2,960万7千円が含まれています。